

作成日 2020年11月18日
改定日 2023年4月1日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

化学品の名称 : UVエース SK-Z コンパウンド
供給者の会社名称 : 久保井インキ株式会社
住所 : 大阪市東成区東今里2丁目11-23
担当部門 : 技術部
担当者 : 山田晃太郎
電話番号 : 06-6973-6211
FAX 番号 : 06-6973-6171
緊急連絡先電話番号 : 06-6973-6211
推奨用途 : 紫外線硬化型印刷インキ用補助剤
使用上の制限 : 業務用
整理番号 : 1UR031J2

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分2
皮膚感作性 区分1

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語 : 警告
危険有害性情報 : 強い眼刺激 (H319)
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)

注意書き

安全対策

: 粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
(P261)
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
取扱い後は手をよく洗うこと。(P264)
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)

応急措置

: 皮膚についた場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)
特別な処置が必要である(P321) (この SDS の注意書きを見よ)。
皮膚刺激又は発しんが生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
(P333+P313)

- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362+P364)
- 保管 : 日光から遮断すること (P410)
- 廃棄 : 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名	含有率	化学特性	化審法番号 安衛法番号	CAS No.
モノマー	80~90%	—	あり あり	あり
シリカ	1~10%	—	(1)-548 あり	7631-86-9
助剤	1~10%	—	あり あり	あり

4. 応急措置

下記の応急措置を施すとともに、直ちに医師に連絡をとりその指示に従う。

- 吸入した場合 : 負傷者を新鮮な空気のある場所に移動し、休息させる。
嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。
水でうがいをする。
- 皮膚に付着した場合 : すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。
皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹸水で洗う。
- 眼に入った場合 : 直ちに清浄な水で5分間以上洗い流す。
眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い、医師の診断を受ける。
眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。
- 飲み込んだ場合 : 嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。
事故の場合又は気分が悪いときは、直ちに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項やラベル、SDSを示す。
飲み込んだ場合は、水で口内を洗う（その人の意識がある場合のみ）。
- 応急措置をする者の保護 : 救急者は、保護具を着用する（曝露防止措置の注意事項を参照）。
- 医師に対する特別注意事項 : 直ちに医師の診断を受け、この容器に記載された注意事項又はSDSを示す。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 泡、二酸化炭素、粉末、乾燥砂。
- 使用してならない消火剤 : 棒状水
- 特有の消火方法 : 周辺火災の場合：移動可能な場合、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する。
着火した場合：火元（燃焼源）を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火。
- 消火を行う者の保護 : 火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具（送気マスク、自給式呼吸器等）を着用する。

6. 漏出時の措置

関係法規に準拠して作業する。

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業者は保護具（曝露防止措置及び保護措置の項を参照）を着用し、風上で作業する。

屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。

漏出した場所の周辺にはロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項 : 漏出物が河川、水路等公共水路に飛散ないように掃き集め容器に回収する。

封じ込め及び浄化方法及び機材

: 掃き集め密閉可能な容器に回収する。

回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。

二次災害の防止策 : 漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。

万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

関係法規に準拠して作業する。

取扱い

: 容器は注意して取扱い、開ける。

使用時には飲食しない。

皮膚との接触を避ける。

眼との接触を避ける。

眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診断を受ける。

すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。

皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹸水で洗う。

技術的対策 : 換気のよい区域でのみ使用する。

取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。

取扱いは換気のよい場所で行う。

作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。

局所排気装置の設置された場所で作業する。

眼、顔面用の保護具を着用する。

適当な保護衣及び眼・顔面用の保護具を着用する。

取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。

安全取扱い注意事項：知見なし

接触回避 : 情報なし

保管

安全な保管条件 : 熱から離して保管する。

着火源からはなして保管するー禁煙。

容器を密閉して保管する。

8. 曝露防止及び保護措置

許容濃度 : 日本産業衛生学会：シリカ

0.03mg/m³ Respirable dust

設備対策

: 取扱いについては全体換気装置又は局所排気装置を設置した場所で取扱う。
取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。

保護具

- 呼吸用保護具 : 本製品を多量に使用する場合、又は密閉空間で使用する場合には、送気式もしくは自給式呼吸器を推奨する。
- 手の保護具 : ゴム手袋、皮手袋等。
- 眼の保護具 : 保護眼鏡（ゴーグル型）又は保護面（防災面）
- 皮膚及び身体の保護具 : 帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

製品

- 外観 物理状態 : 固体
- 形状 : 粘性液体
- 色 : 淡黄色透明
- 臭い : わずかな臭い
- 融点/凝固点 : データなし
- 沸点、初留点及び沸騰範囲 : データなし
- 可燃性 : データなし
- 爆発下限及び爆発上限/可燃限界 : データなし
- 引火点 : 170°C以上 過熱により重合し固化する。
- 自然発火点 : データなし
- 分解温度 : データなし
- pH : データなし
- 動粘性率 : データなし
- 溶解度 : 水 : 難溶
有機溶剤 : 易溶
- n-オクタノール/水 分配係数 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 比重（密度） : 1.0~1.1(25°C)
- 相対ガス密度 : データなし
- 粒子特性 : データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性 : 情報なし
- 化学的安定性 : 通常取り扱い及び保管には安定(取り扱い及び保管に関する情報は7章を参照のこと)。光を当てると硬化反応を起す。
- 危険有害反応可能性 : 情報なし
- 避けるべき条件 : 物理的衝撃、過熱、湿気や水分
長期間の直射日光
- 混触危険物質 : 第一類、第六類の危険物及び高圧ガスとの接触は避ける。
強酸化剤、強酸、強アルカリ
- 危険有害な分解性生物 : 燃焼等による CO、NO_x

11. 有害性情報

製品

- 急性毒性（経口） : 分類できない
- 急性毒性（経皮） : 分類できない
- 急性毒性（吸入） : 分類できない（気体）

	分類できない (蒸気)
	分類できない (粉塵・ミスト)
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性	
/眼刺激性	: 区分 2
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分 1
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない
誤えん性有害性	: 分類できない

12. 環境影響情報

製品

生体毒性

急性毒性	: 分類できない
慢性毒性	: 区分に該当しない
残留性/分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 分類できない

13. 廃棄上の注意

この製品及び容器・包装材は安全な方法で廃棄しなければならない。

残余廃棄物	: 法令に従って、残余廃棄物、製品の包装材を廃棄処理する。 産業廃棄物処理業者と委託契約を結び、廃棄物の内容を明確にして、処理を委託する。 法的規制に適合した設備と方法で焼却処理を行う。 焼却条件によっては有毒ガスが発生する可能性があるため、除害装置のある焼却炉の使用を推奨する。
汚染容器及び包装	: 情報なし

14. 輸送上の注意

国際規則

国連番号	: なし
国連分類	: なし
品名 (国連輸送名)	: なし
容器等級	: なし

国内規制

陸上輸送	: 法の基準に従い積載・輸送する。
海上輸送	: 法の基準に従い積載・輸送する。
航空輸送	: 法の基準に従い積載・輸送する。

特別の安全対策 : 保護具、消火器を携帯する。

必要であれば、イエローカードを携帯する。
 梱包や袋が破れないように丁寧に取扱う。
 荷崩れ、水濡れを防止する。

15. 適用法令

- 化審法 : 製造輸入量の届出を要しない物質
 シリカ
- 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号・別表第9)
 シリカ
 名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号・別表第9)
 シリカ (政令番号: 311) : 1~10%
- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- 消防法 : 法第9条の4・危険物規制令別表第4 指定可燃物 可燃性固体類
- 外国為替及び外国貿易法: 輸出許可物資
 シリカ
 輸出貿易管理令別表第1の16項に該当するので、経済産業省のガイドラインの参照や事前相談望ましい。
- 化学物質排出把握管理促進法 (P R T R法) : 該当しない

16. その他の情報

印刷インキを用いた印刷工程は I A R C 2 B (曝露環境はヒトに対して発がん性があるかもしれない曝露を伴う) に分類されています。

本文書は製品の安全情報を記したものです。品質保持上の諸要件については技術資料、仕様書等をご参照下さい。

保護具に関する詳細については (社) 日本保安用品協会(TEL:03-5804-3125)にお問い合わせ下さい。

- 参考資料 : 国際化学物質安全性カード (I C S C)
 : Registry of Toxic Effects of Chemical Substances(RTECS)
 : 作業環境評価基準
 : 産業衛生学会雑誌
 : TLVs and BEIs(ACGIH)
 : 米国連邦規則集 (O S H A)
 : IARC Monographs on the Evaluation of Carcinogenic Risk to Humans(IARC)
 : 法規制物質リスト (日本ケミカルデータベース)
 : ケミカルデータベース (日本ケミカルデータベース)
 : GHS分類結果データベース (製品評価技術基盤機構 N I T E)
 : EU CLP 規則 (EC) No1272/2008 付属書VI 表 3.1

その他 : 弱い皮膚刺激性、粘膜刺激性がある。人によって、長時間接触で炎症を起こすことがある。

問い合わせ先

久保井インキ株式会社 技術部
 電話番号 : 06-6973-6211
 FAX 番号 : 06-6973-6171

記載内容の変更等

- この「安全データシート(SDS)」は、安全保証書ではありません。
- 本製品を取扱う場合はこの「安全データシート」を参考として、使用者の責任において実態に応じ

た適切な処置を講じて下さい。

また、「安全データシート」の内容は、法令の改正や新しい知見に基づき改定されることがあります。